

# 子どもの交通事故防止！



## 大切な「いのち」をまもる！



子どもの交通事故原因として  
● **最も多いのは「飛び出し」です！**

子どもはひとつのものに注意が向くと、周りのものが目に入らなくなる傾向があり、衝動性や情緒の不安定が交通事故を誘発する行動の原因となります！ひとりで歩くことが慣れていない低学年は特に注意が必要です。



### 通学路や自宅周辺の危険個所の確認

通学路や自宅周辺と一緒に歩いて、**子どもと同じ目線**で確認し、危険個所を**「具体的」**に伝えましょう！

立ち止まる場所や見る方向、確かめる対象を繰り返し指導しましょう。



- （例）
- この場所は車が多いから、ここで止まるのよ！
  - 車やバイクが来ていないか右・左よく見るのでよ！



### 安全な横断手順の習慣化（大人がお手本です）

子どもは大人の真似をします。

普段からお手本となるような行動を見せましょう。

信号機のある横断歩道、信号機のない横断歩道の正しい横断手順を身につけさせましょう。ひとりで安全に通行できる様になるには繰り返しの指導が必要です。青信号は必ずしも安全ではないこと、渡る前には必ず左右の安全確認することを指導しましょう。

特に交差点を渡るときには、右左折のため曲がってくる車両があることも理解させましょう。



# 横断意思表示ハンドサイン



信号機のない横断歩道を渡る時、手を上げる（ハンドサイン）等横断意思表示をすると、8割以上のドライバーが停まる、という調査結果があります。（令和3年 県警調査）

令和3年4月より、信号機のない道路での横断は手を上げるなどして運転者に横断の意思を明確に伝えることが歩行者の心得として盛り込まれました。

（交通の方法に関する教則）



ハンドサインのサインちゃん



※お子さんには、おうちの人方が内容をお話して下さい！

横断時の安全行動

## 交通安全についてもっと知りたい。埼玉県警察HPをcheck！

小学校周辺  
交通事故  
発生状況



信号機のない  
横断歩道の渡り方  
サインちゃん



みんなで  
「カチッ」と  
自転車ヘルメット

